

# NPO 法人 M2M・IoT 研究会 第 18 回専門部会セミナーの御案内

-DX時代の重要技術のAI/IoT, クラウド, アジャイルの紹介とオンライン実習型 AI 教育法事例報告-

主催：NPO 法人 M2M・IoT 研究会(URL： <https://www.m2msg.org/>)

## 1. 開催趣旨

デジタル技術とデータ活用により顧客や社会の課題を解決して新たな価値を創出する DX (Digital Transformation: デジタル変革) が注目されています。DX の時代を迎えて、IoT により収集されたビッグデータと AI 技術による認識・評価・分析技術によりますます応用分野が広がり、新しいイノベーションが期待されています。AI/IoT 分野の最先端で活躍されている企業の方々に、それぞれの分野での最新の取り組み状況と今後の動向等について、ご講演をいただきます。また、IoT/AI 時代を迎え、注目されているアジャイル開発の考え方を生かしたプロジェクト型教育について大学での取り組みを紹介いただきます。M2M・IoT 研究会からの活動紹介として、「オンライン実習型 AI 教育法」について紹介する予定にしております。

今回も、新型コロナウイルスの影響を考慮して、講演会場と Zoom による遠隔視聴を組み込んだ形式で開催いたしますので、是非、ご参加をお願いいたします。

## 2. 開催要領

(1)日時:2021 年 11 月 13 日(土) 13:30~17:10, 交流会 はありません

(受付開始 13:00)

(2)会場:藤沢商工会館ミナパーク 302 会議室(JR 藤沢駅北口より徒歩5分)

新型コロナウイルス対策の会場と Zoom による遠隔参加

URL:<https://www.fujisawa-cci.or.jp/access/> TEL:0466-27-8888

(3)参加費:セミナー:M2M・IoT 研究会会員無料, 非会員無料, 学生無料

(4)参加申し込み方法:会場参加と遠隔参加ともに事前の申し込みが必要です。

参加される方は、「<https://www.m2msg.org/?p=5565>」から申し込みください。

・会場参加者:先着 30 名様、遠隔参加者:先着 100 名様

・会場参加者はマスク装着でご来場ください。発熱や体調不良の方のご来場はご遠慮ください。

また、会場入口での消毒スプレーによる手の消毒と体温測定にご協力ください。

## 3. プログラム

司会 M2M・IoT 研究会副理事長・技術専門部会長, サイバー大学教授 清尾 克彦

・プログラムの紹介・・・13:30~13:35:会場

I M2M・IoT 研究会理事長挨拶・・・13:35~13:50(15分):会場

NPO 法人 M2M・IoT 研究会理事長 小泉 寿男

II 講演(講演は講演会場または遠隔場所からの発信になります。)

(1) 講演 1・・・13:50~14:35(45分):

「IBM Research における金融向け AI 技術の御紹介」

日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所 シニア・テクニカル・スタッフ・メンバー フィナンシャル・テクノロジー部長 吉濱佐知子様

<概要>IBM Research では全世界の研究員が協力し、未来のコンピューティング技術のための研究開発を行っています。本講演では、IBM Research の概要と取り組みを、特に以下の AI 関係技術を中心に御紹介さ

させていただきます。(1) 討論を行うコンピュータである Project Debater の概要と、その応用としてのニュース記事分析による金融向けソリューション、(2) 決済データの大規模グラフ分析技術

**(2)講演 2・・・14:40～15:25(45 分):**

**「IoT 機器によるリアルタイムデータ分析の実現」**

**クラウドエース株式会社 Google Cloud Authorized Trainer エモーショナルエバンジェリスト ラリオス川口様**

〈概要〉 昨年よりつくつく新型コロナウイルスが世の中の流れを大きく変えた現在、ICT の活用が求められています。これまでデジタル化が進みにくかった領域にも「DX」のキーワードで目まぐるしい速さでデジタル化が進んでいます。その中で中心となる技術が IoT、ビッグデータ、AI といった分野です。この分野において Google Cloud が一歩進んでいる素晴らしいサービスをご紹介します。

**休憩(10 分)**

**(3)講演 3・・・15:35～16:20(45 分):**

**「AgilePBL(アジャイルなプロジェクトベース学習)を通じて生き生きとした価値創造の場を作る」**

**筑波技術大学 産業技術学部 准教授/筑波大学 非常勤講師 渡辺知恵美先生**

〈概要〉筑波大学で実施しているプロジェクトベース学習では、アジャイル開発の価値・原則をもとにしたチームによるソフトウェア開発 (AgilePBL) を実践しています。1 コマ (3 時間) スプリントによる高速なフィードバックループの中で、チーム内・チーム間・そして教員や TA を含めた組織全体での学びが活性化していく様子をご紹介します。

**Ⅲ M2M・IoT 研究会活動報告:会場**

**・オンライン実習型 AI 教育法改版の開発状況報告・・・16:25～17:05(40 分)**

**「AI 応用プロトタイプ構築による AI 教育法の企業向け実践事例紹介」**

**NPO 法人 M2M・IoT 研究会理事, サイバー大学教授 大江 信宏**

〈概要〉 AI 応用プロトタイプ構築による AI 教育法は、事例や教材プロトタイプ実習による AI 基礎学習に加え、統計的機械学習やディープラーニングを用いた 4 種類の応用プロトタイプ学習を通して、実際の現場で、IT 系技術者だけでなく、多くの実務者が AI を活用できるようになることを目指しています。本報告では、この概要を紹介するとともに、企業人を対象にしたオンライン講座として、2020 年、2021 年と連続して実践した事例とその成果をご報告致します。

**・講演会終了の挨拶・・・17:05～17:10:会場**

**NPO 法人 M2M・IoT 研究会副理事長, 株式会社 VCJ 代表取締役社長/CEO 飯田秀正**

以上